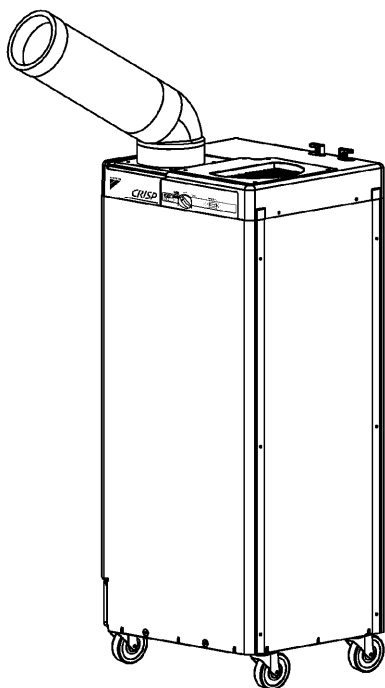




取扱説明書

スポットエアコン クリスポ® 〈クリスポ《一体形》〉



掲載機種

SUASP1DS SUASP1FS
SUASP1DT SUASP1FT
SUASSP1DS SUASSP1FS
SUASSP1DT SUASSP1FT

(屋内設置用)

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、**必ずお読みください。**
お読みになったあと、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- 保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用の前に	
安全について	
必ず守ってください	1
据付けについて	5
各部の名前と働き	8

ご使用の前に

運転について	
運転準備	9
運転のしかた	
冷房・送風運転のしかた	10
上手な使いかた	11

運転について

お手入れについて	
お手入れのしかた	
日常のお手入れ	12
シーズン初め・終わりのお手入れ	13

お手入れについて

知っておいてください	
調子がおかしいときは	14
別売品について	16
製品の種類	16
アフターサービスと保証について	17
お客様ご相談窓口	裏表紙

知っておいてください

上手に使って上手に節電

安全について

必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ず電源プラグを抜いてください。

⚠警告 使用上の注意事項

- | | | | |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●長時間冷風を体に直接当てない、冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの抜き差しでエアコンの運転や停止をしない
火災や水漏れの原因になります。
また、ファンが突然回り、けがの原因になります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●分解や修理をしない
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない
重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると、破損して感電・火災の原因になります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●改造は絶対にしない
事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも有料修理になります。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・タコ足配線をしない
感電や発熱・火災の原因になります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のほこりのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断してから、電源プラグを抜く
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。 |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●冷媒が漏れたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実にされたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように確実に差し込む
感電や火災の原因になります。 |  |

警告 使用上の注意事項

- 電気工事が必要な場合は、
お買い上げの販売店に依頼する
配線などに不備があると、
感電・火災の原因になります。
- 電源ブレーカーは必ずエアコン専用の
電源ブレーカーを使用する
専用以外の電源を使用すると
発熱・火災・故障の原因になります。
- エアコン内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、
樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。
- 洪水・台風など天災でエアコンが
水没したときは、
お買い上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・
火災などの原因になります。

注意 使用上の注意事項

- 特しゅ用途には使用しない
精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。
- エアコンの上に乗ったり、
物を載せたりしない
落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。
- エアコンの真下や近くにぬれて
困るものは置かない
運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口の詰りで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。
- 吹出ダクトの方向転換は、
たたいたり強く曲げたりしない
脱落し、けがの原因になることが
あります。
- エアコンの風が直接当たるところで
燃焼器具を使わない
燃焼器具の不完全燃焼の原因に
なることがあります。
- エアコンの近くで暖房器具を使わない
暖房器具の熱により吸込グリルなどが
変形することがあります。
- 動植物に直接風を当てない
動植物に悪影響をおよぼす原因に
なることがあります。
- 吹出口の近くにスプレー缶などを
置かない
エアコンからの温風により
スプレー缶などが爆発する
おそれがあります。
- エアコンで遊ばせない
誤った操作による体調悪化や
健康障害の原因になることがあります。
- エアコンの吸込口やアルミフィンに
さわらない
けがの原因になることがあります。
- エアコンの吹出口を取り外さない
高速で回転するファンにより、
けがの原因になることがあります。
- 吸込口や吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になることが
あります。
- 傾斜部や凸凹部に設置しない
転倒によるけがや水漏れの
原因になることがあります。
必ず水平な場所に設置して
ください。
- 移動時傾けない
転倒によるけがや水漏れの
原因になることがあります。
- 運転中は移動しない
水漏れや感電の原因になることが
あります。
- エアコンの周辺に、物を置いたり、
落ち葉をためない
落ち葉などから侵入した小動物が、
内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になることが
あります。

⚠️ 注意 使用上の注意事項

● 吹出口・吸込口の近くに ものを置かない

能力が低下、または
運転が停止する
ことがあります。



禁止

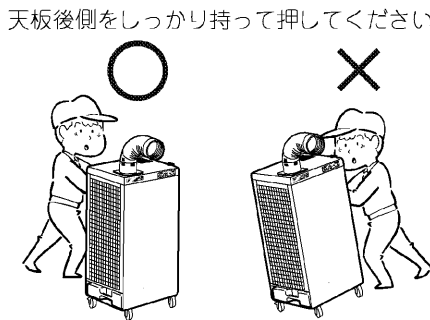
● エアコンを移動させるときは 指定の箇所以外を押さない

その他の部分を押すと、転倒の原因になります。
機械を移動させる場合は、キャスター(自由輪)の
ロックを解除状態にしてください。
また、移動経路に段差や障害物があると、
転倒の原因になります。必ず平坦な場所で
移動させてください。

(注)機械は転倒防止のため15°以上
傾けないでください。



禁止



● ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

● エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因に
なることがあります。



水ぬれ禁止

● エアコンの上に花びん・植木鉢など、 水の入った容器を置かない

内部に水が浸入して感電や火災の
原因になることがあります。



水ぬれ禁止

● お手入れのときは必ず運転を停止し、 電源ブレーカーを遮断してから、 電源プラグを抜く

電源を遮断しないと、
感電やけがの原因になることがあります。



● 長期間使用しないときは、 電源プラグを抜く

ほこりがたまって発熱・発火の
原因になることがあります。



● ドレンタンクは必ず水を捨て、 製品に取り付けて使用する (ドレンホース接続時は ドレンタンクは不要です)

ドレンタンクがないと、水漏れや
感電の原因になることがあります。



● ドレンタンクは正しく取り付け

逆向きに取り付けると水漏れや感電の
原因になることがあります。



● ときどき換気を行う

換気が不十分な場合は、酸素不足の
原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、
ご注意ください。



● 電源プラグの抜き差しは、 プラグ部分を持って行う

コード(ケーブル)を引っ張ると、
断線などで、発熱・発火の原因に
なることがあります。



● 移動時は、キャスターの ストッパーのロックを解除する

転倒によるけがや水漏れの
原因になることがあります。



● 使用時は、キャスターのストッパーを ロックする

転倒などによりけがの原因に
なることがあります。



● ドレンタンクの排水時

タンクのためにはしっかり持つ
満水のドレンタンクの落下により
けがや水漏れの原因になることが
あります。



● ドレンホースを接続した状態で エアコンを移動する場合は、 ドレンホースがエアコンの移動の さまたげにならないようしてから 移動する

転倒によるけがや水漏れの原因に
なることがあります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。

お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない 別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。

お買い上げの販売店または
コンタクトセンターにご依頼ください。
(裏表紙参照)



禁止

●修理は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。

お買い上げの販売店にご依頼ください。禁止



禁止

●アース工事を行う

アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。



●漏電遮断器を取り付ける

100V機を乾燥した場所で使用する場合は省略できます。
取り付けないと感電や火災の原因になります。



●冷媒漏れ対策は、販売店に相談する

万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように対策する必要があります。



注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない

万一、ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。



禁止

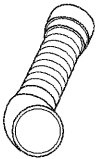
●ドレンホースは、確実に排水するように施工する

不備があると、屋内に水漏れし、汚れや故障の原因になることがあります。



据付けについて

据付前に付属品をご確認ください。

名 称	冷風吹出口	クランプ材	排気ダクト	その他
個 数	1	1	1	各1
形 状			 ※SUASSP1DS・SUASSP1DT・ SUASSP1FS・SUASSP1FTのみ	取扱説明書 保証書

据付場所について

- まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 調理場など蒸気が多いところ
 - 海浜地区など塩分が多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 電圧変動の多いところ(定格電圧±10%以内)
 - 車両・船舶への搭載など
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
 - 傾斜や凸凹のあるところ

運転音にもご配慮を

- 次のような場所を選んでいますか？
 - エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- エアコンの吹出口近くに障害物はありませんか？
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になります。
- 使用中に異常音がする場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

※300V以下：D種接地工事
300Vを超える：C種接地工事

お
願
い

- 電気工事・D種接地工事※の施工には資格が必要です。
電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。
また、200V以上で使用するエアコンの電気工事は、必ず電気工事業として登録された据付工事店が行ってください。

●電線などの選定

形名		SUASP1DS・SUASP1FS SUASSP1DS・SUASSP1FS	SUASP1DT・SUASP1FT SUASSP1DT・SUASSP1FT
項目			
電 源		単相100V 50/60Hz(※2)	三相200V 50/60Hz(※11)
電源配線太さ(mm ²)		2.0	2.0
こ う 長(※1)(m)		16(※10)	60
プ ラ グ		本体に付属	250V 15A(引掛形20A)
コンセント		125V 15A	250V 15A(引掛形20A)
漏電遮断器 (※5)	定 格 電 流(A)	15	10
	定格感度電流(mA)	30	30
	動 作 時 間(s以下)	0.1	0.1
ア ー ス 線(mm ²)		2.0	2.0

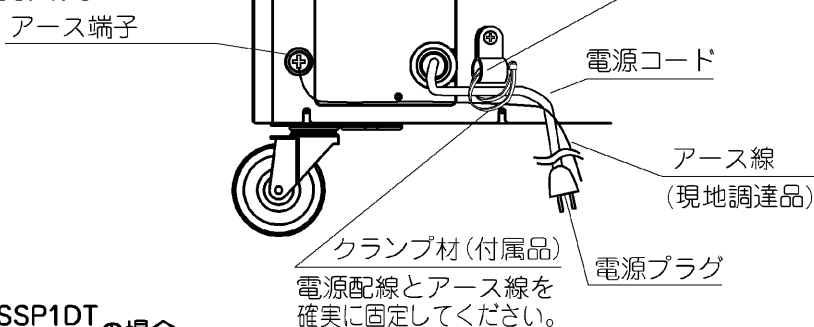
- ※1 電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
- ※2 100V機は電源コードを付属しています。延長コードを使用する場合は、内線規程(JEAC8001)に基づき、電圧降下を考慮し、こう長および電源配線太さを算出してください。
- ※3 漏電遮断器を取り付けてください。100V機を乾燥した場所で使用する場合は省略できます。
- ※4 配線要領は内線規程(JEAC8001)に基づいて決められています。
- ※5 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組み合わせて使用してください。
漏電遮断器の定格容量は、ヒューズ容量または配線用遮断器の定格電流と同等以上の容量のものを使用してください。

形名		SUASP1DS・SUASP1FS SUASSP1DS・SUASSP1FS	SUASP1DT・SUASP1FT SUASSP1DT・SUASSP1FT
項目			
ヒューズ付負荷	開閉器容量(A)	15	15
開閉器使用の場合	B種ヒューズ容量(A)	15	10
配線用遮断器使用の場合	定格容量(A)	15	10

- *6 配線用遮断器の定格遮断容量は、現地設備工事内容により、それぞれ異なります。遮断器取付箇所における短絡電流を計算(推定)し、十分耐えるだけの遮断容量を有する適正な遮断器を選定してください。
その都度計算できない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701『低圧電路に使用する自動遮断器の必要な遮断容量』が発行されていますので現地設備工事内容に適合する遮断器を選定してください。
- *7 接地工事は必ず電源を遮断してから行ってください。
- *8 D種接地工事は必ず行ってください。漏電遮断器を取り付ける場合は、保護接地抵抗値が適用できます。(保護接地抵抗値は、100Ω以下にしてください。)
- *9 据付後、配線工事のチェックを行い、誤配線がないことを確認してください。
- *10 付属の電源コードの長さを除いたこう長を示します。
- *11 電源配線は必ず正相で接続してください。本機は逆相保護回路を搭載しています。逆相保護回路作動時は、3線中2線を入れ替えてください。(200V機の場合)
- *12 電源ブレーカーはほかの機器類と併用しないでください。専用回路で電気配線してください。
- *13 電線は継ぎ足しをしないでください。
- *14 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
ガス管：ガス漏れ時の爆発・引火の危険性があります。
水道管：硬質ビニル管が使用されている場合、アースの効果がありません。
避雷針や電話のアース線：落雷時にアース電位が異常上昇する危険性があります。

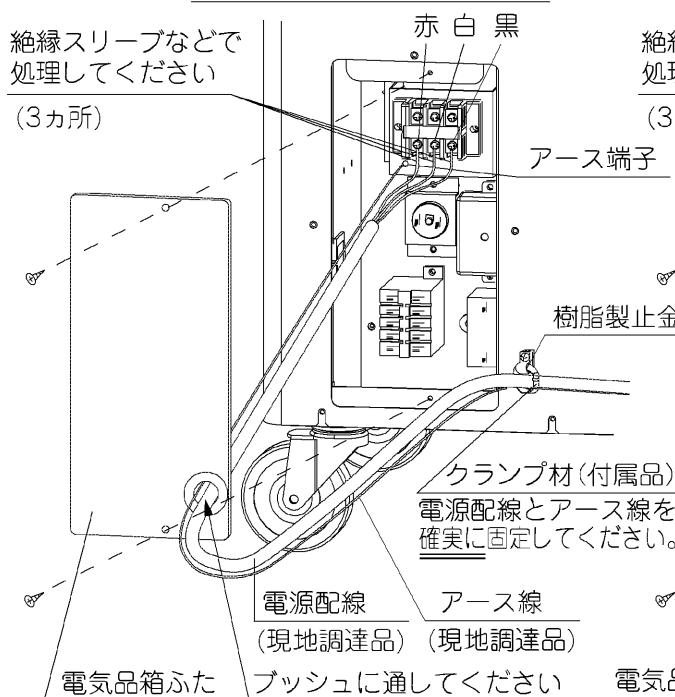
●電源配線要領

SUASP1DS・SUASSP1DS SUASP1FS・SUASSP1FS の場合

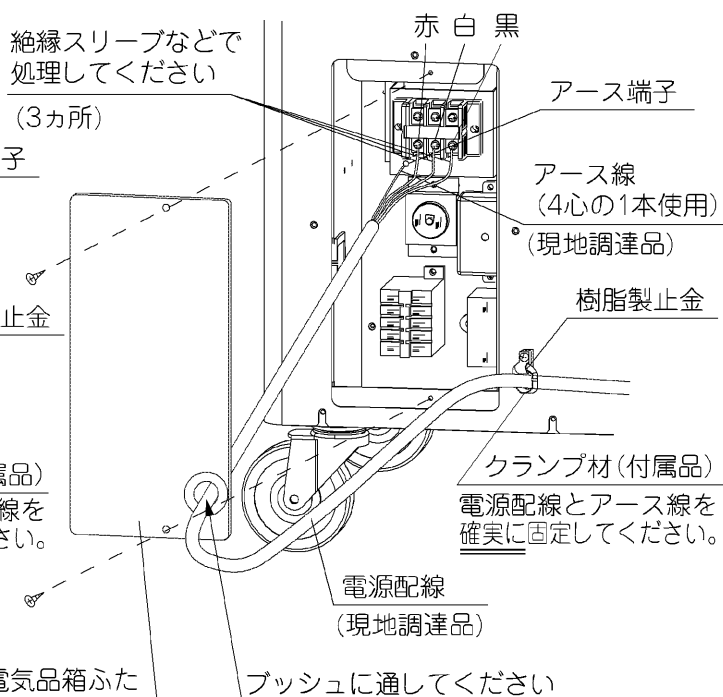


SUASP1DT・SUASSP1DT SUASP1FT・SUASSP1FT の場合

3心の電源配線をご使用の場合

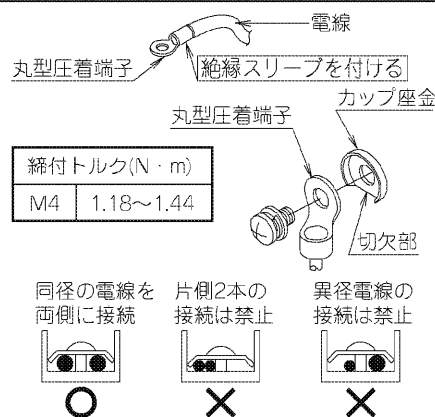


4心の電源配線をご使用の場合



〈配線接続時の注意〉

- 丸形圧着端子部に必ず絶縁スリーブを付けるか、絶縁スリーブ付きの丸形圧着端子を使用する
配線は、所定の電線を使い確実に接続し、端子部に外力が加わらないように固定する。
- 端子ねじの締付けには、適正なドライバーを使用する
小さいサイズのドライバーはねじ頭部を傷め、適正な締付けができません。
- 端子ねじは右表の締付トルクで締め付ける
端子ねじを締め付け過ぎると、ねじを破損する可能性があります。
- アース線の取出しは必ずカップ座金の切欠部より出し、ほかの配線をはさみ込まない
アース線の接触が不十分になり、アースの効果がなくなるおそれがあります。
- より線はハンダ仕上げをして使用しない
電線のゆるみなどにより、異常発熱のおそれがあります。



- クランプ材は締付後、余分な端部はカットしてください。
- エアコン専用の回路を使用してください。
- 電源ブレーカーから本機への配線は、電気品箱ふたを外し、配線貫通穴より端子台に接続してください。(200V機の場合)
- 電気工事終了後、電気品箱の端子接続部にゆるみや外れがないことを再度確認してください。(200V機の場合)
- コンセントは確実に差し込んでいますか？
また、電源コードや電源配線が断線していませんか？
圧縮機が焼損する原因になることがありますので、必ず下記項目を実施してください。
 - コンセントはロック式のものを使用してください。
 - 電源コードや電源配線は断線のおそれがないか定期点検をしてください。
 詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

注意

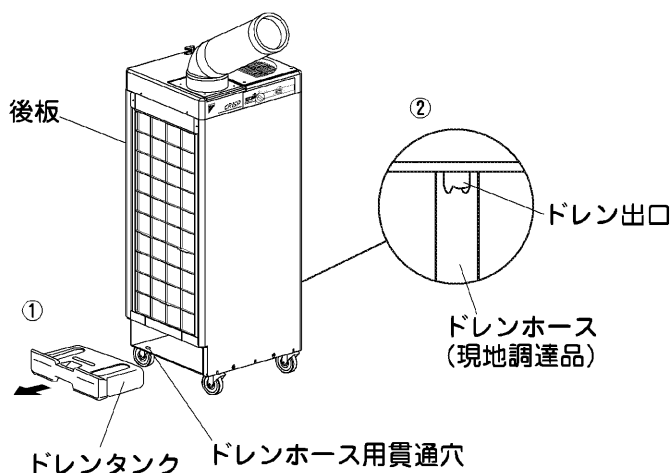
- 運転可能電圧は定格電圧の±10%以内です。
(100V機の場合：90～110V
200V機の場合：180～220V
(始動時の電圧降下を含めた値))
この範囲をこえると正常に運転できなくなることがあります。

ドレンホースを接続する場合

●ドレンホース接続可否一覧

可	否
SUASP1DS・SUASP1FS SUASP1DT・SUASP1FT	SUASSP1DS・SUASSP1FS SUASSP1DT・SUASSP1FT

ドレンタンクを使用せずにドレンホースを接続する場合は、ドレン出口に直接ホースを接続してください。
(ドレンホースは現地調達品…推奨ホース内径16mm)



お願い

- ドレンホース接続時、ドレン出口を破損しないようにご注意ください。
- ドレンホース接続時はドレンタンクは不要となります。
- ドレンホースは通行などのさまたげにならないようにし、詰りやつぶれがなく確実に排水できることをご確認ください。

- ①ドレンタンクを取り出してください。
- ②ドレン出口に直接ドレンホースを奥までしっかり押し込んでください。
(ドレンホースはドレンホース貫通用穴を通して) 機外に取り出してください。

試運転について

電源工事が終了したら、必ず「運転のしかた(10 ページ参照)」にしたがって、機能の確認をしてください。

試運転で正常に運転できない場合は、「調子がおかしいときは(14,15 ページ参照)」の項目を確認し、販売店にご連絡ください。

各部の名前と働き

⚠ 注意

● 運転中は移動しない

水漏れや感電の原因になることがあります。



禁止

● ドレンタンクは正しく取り付ける

逆向きに取り付けると水漏れや感電の原因になることがあります。



冷風吹出口



電源コード引掛具

凝縮器側排気口

操作パネル

運転操作ツマミ

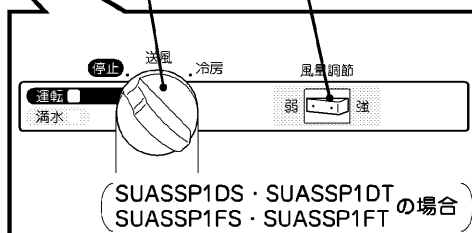
風量調節スイッチ

エアフィルター

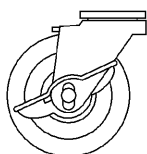
内部には熱交換器が取り付けられています。

ドレンタンク

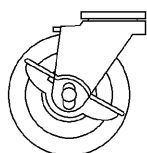
容量：約5リットル



キャスターの状態
ロック状態(エアコン使用时)



ロック解除状態(移動時)



ストッパーをロックしないで
運転すると満水検知が誤って
働く場合があります。
※SUASSP1DS・SUASSP1DT
SUASSP1FS・SUASSP1FTのみ

キャスター (ストッパー付)

アース端子

万一の感電・火災防止のため
室内ユニットから大地へ
電気を逃がす線(アース線)を
接続する端子です。
(SUASP1DT・SUASSP1DT・
SUASP1FT・SUASSP1FTは
機内にあります。)

電源コード

電源プラグ

(SUASP1DS・
SUASSP1DS・
SUASP1FS・
SUASSP1FSのみ)

ご使用前に

運転準備

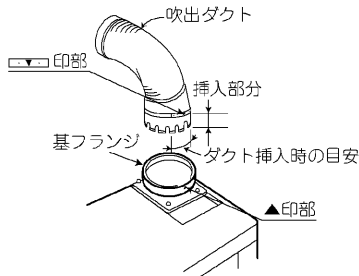
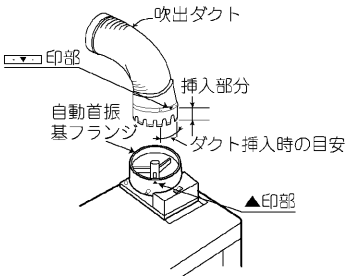
1 キャスターのストッパーをロック状態にします。

(ロック時の状態は  ページをご覧ください。)

2 吹出ダクトを取り付けます。(製品に付属しています。)

お願い

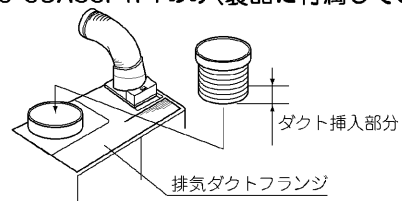
- 吹出ダクト取付時、挿入部分を持たないでください。
必ず、それ以外のダクト部を持って作業してください。
指をはさみ、けがの原因になることがあります。

SUASP1DS・SUASP1DT SUASP1FS・SUASP1FT の場合	SUASSP1DS・SUASSP1DT SUASSP1FS・SUASSP1FT の場合
吹出ダクトの銘板( 印部)の・印から・印の範囲を目安として、基フランジの▲印に合わせて上から真すぐに押し込んでください。 〔カチッと音がするまで確実に押し込んでください。〕 	吹出ダクトの銘板( 印部)の・印から・印の範囲を目安として、自動首振基フランジの▲印に合わせて上から真すぐに押し込んでください。 〔カチッと音がするまで確実に押し込んでください。〕 

3 排気ダクトを取り付けます。—SUASSP1DS・SUASSP1DT・SUASSP1FS・SUASSP1FTのみ(製品に付属しています。)

排気ダクトは、伸縮自在で上または横方向に吹き出すことができます。

〔排気ダクトフランジ底面にダクトが当たるまで〕
〔確実に押し込んでください。〕

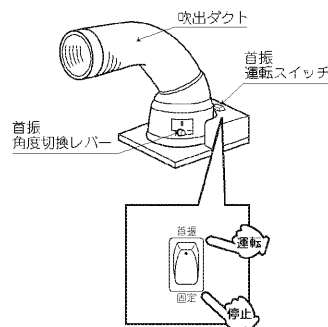


4 延長ダクトを取り付けます。(別売品です。)

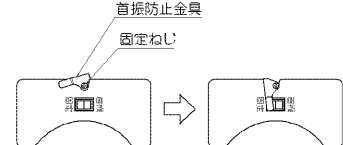
注意

- 取付作業の前に、必ず電源ブレーカーを遮断してください。
- 延長ダクトを取り付けて首振運転はできません。延長ダクトを取り付けるときは、必ず首振運転スイッチを固定側に固定してください。首振側で運転し続けると製品が故障する原因になります。

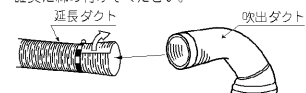
①首振運転スイッチが固定側に固定していることを確認してください。



②首振側に固定されている場合は、固定ねじをゆるめて、首振防止金具でスイッチを固定側に固定してください。



③延長ダクトの接続は、延長ダクトを右にねじってダクト径を拡大し、吹出ダクトに差し込んでください。差し込み後、延長ダクトに付属の止めバンドで確実に締め付けてください。



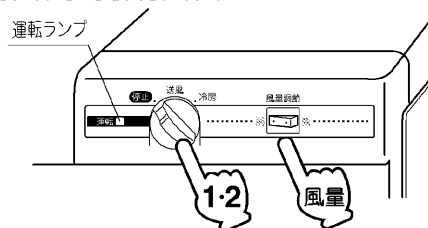
5 エアフィルター・ドレンタンクがきちんと収まっていることを確認します。

6 アース線が確実に接続されているか確認します。

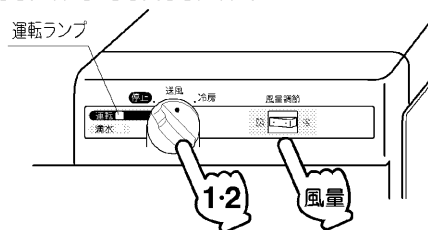
7 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ブレーカーを入れます。

冷房・送風運転のしかた

●SUASP1DS・SUASP1DT SUASP1FS・SUASP1FTの場合



●SUASSP1DS・SUASSP1DT SUASSP1FS・SUASSP1FTの場合



風量

風量調節スイッチにより
「強」・「弱」の選択ができます。

●風量調節スイッチは  ページ参照

停止

運転操作ツマミを
停止にします。
運転ランプが消灯し、
運転を停止します。
(圧縮機も停止します。)

1

運転操作ツマミを
送風にします。
運転ランプ(赤)が点灯します。
(圧縮機は運転していません。)

●送風運転の操作はここまでです。

2

運転操作ツマミを
冷房にします。
冷房運転を開始します。
(圧縮機が運転を始めます。)

連続運転可能範囲

機種名	周囲温度
SUASP1DS・SUASSP1DS SUASP1DT・SUASSP1DT SUASP1FS・SUASSP1FS SUASP1FT・SUASSP1FT	25～45℃

お願い

- 200V三相機の場合、操作後
運転しないときは、逆相保護装置が
作動していることがあります。
3線中2線を入れ替えてください。
回らないからといって絶対に電磁開閉器を
手で操作しないでください。
手で操作しますと圧縮機が故障します。
- 冷房運転停止後、再運転するときは
3分以上お待ちください。
保護装置が働き、運転しないときがあります。

運転について

運転の内容と働き

SUASSP1DS・SUASSP1DT・SUASSP1FS・SUASSP1FTの場合

運転操作ツマミ	停止	送風	冷房	停止	送風	冷房	送風	停止
ファン電動機	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON
圧縮機	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF
運転ランプ	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF
満水ランプ	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF

満水
(※1) → 停止後、
排水してください

- ※1 ドレンタンク満水時は、満水ランプ(赤)が点灯し送風運転となります。(圧縮機は運転しません。)
運転操作ツマミを停止にしてからドレンタンクの水を排水し、ドレンタンクを収納後、再度冷房運転にしてください。
- ※2 圧縮機保護のため圧縮機停止(冷房運転停止)後、約3分間は圧縮機は再起動しません。
(保護制御中は送風運転となり約3分後に自動で冷房に戻ります。)
- ※3 冷房運転中に製品やドレンタンクに衝撃を加えないでください。
満水検知が誤作動し、圧縮機が停止すると圧縮機保護のため約3分間は圧縮機は再起動しません。
(保護制御中は送風運転となり約3分後に自動で冷房に戻ります。)

上手な使いかた

自動首振運転のしかた — SUASSP1DS・SUASSP1DT SUASSP1FS・SUASSP1FT のみ

運転

首振運転スイッチを
首振にします。
首振運転を開始します。

●操作パネルの運転ランプが点灯していないと動きません。

停止

首振運転スイッチを
固定にします。
首振運転を停止します。

首振角度切換方法

首振角度は50°または70°に設定
できます。
首振角度を変更する場合は次の
手順で行ってください。

1 首振角度切換レバーを
角度固定から角度切換
に回します。

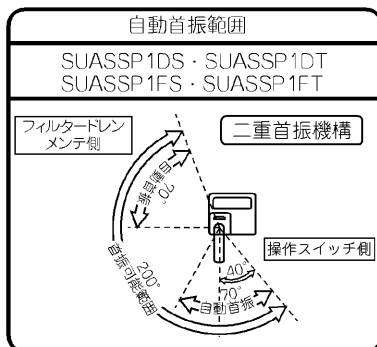
2 首振角度を設定します。
50°—レバーを引く
70°—レバーを押す

3 設定後、必ず角度切換レバーを
角度固定に戻します。

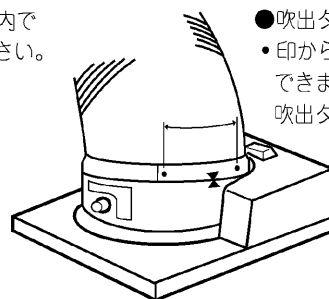
お願い

- 首振運転を行うとき角度切換レバーは確実に「角度固定」の位置にセットしてください。
- 角度の変更および吹出ダクトを曲げるときは必ず首振運転を停止してください。

ダクト回転可能範囲



- 吹出ダクトは自由首振範囲内
ご希望の位置を選んでください。
- 自動首振範囲は電動で動く
範囲です。



- 吹出ダクトの銘板 (□・▼・□印部) の
・印から・印の範囲で向きを変えることが
できます。

吹出ダクトを持って軽く回してください。

- 狭い場所での使用は、窓や扉を開けましょう
締め切った狭い場所では室温が上昇します。



- エアフィルターはこまめに清掃しましょう
汚れたまま運転すると能力の低下、
または故障の原因になることがあります。

12 ページ参照



- テレビ・ラジオ・ステレオなどは
スポットエアコンから
1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入る
ことがあります。



お手入れのしかた

警告

- 可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



禁止

注意

- エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断してから、電源プラグを抜く
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



- ドレンタンクは必ず水を捨て、製品に取り付けて使用する（ドレンホース接続時は）
（ドレンタンクは不要です）
ドレンタンクがないと、水漏れや感電の原因になることがあります。



お願い

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障やけがの原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの（キッチンペーパーなど）を取り付けしないでください。性能が低下し、凍結・水漏れの原因になることがあります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた

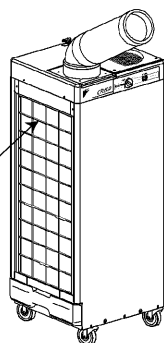
- 汚れのひどいところでご使用になる場合は1週間に1度清掃してください。通常は2週間に1度が目安です。

お願い

- 清掃を行わないと、風量低下により能力の低下や故障の原因になります。
- 清掃を行わないと、悪臭の原因になることがあります。
- 熱交換器からの結露水が正常に流れずに、機外に水漏れするおそれがあります。

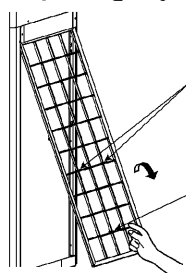
- エアフィルターは、左側面にあります。（1枚のみ）

エアフィルター



1. エアフィルターを取り出します。

エアフィルター取出用のとってを少し持ち上げ、下方へ引き抜いてください。



エアフィルター
取付用の
とって位置

エアフィルター
取出用の
とって位置

2. 清掃します。

取り出したエアフィルターは、清水かぬるま湯で洗ってください。

汚れがひどい場合、水切りし、日陰で柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。

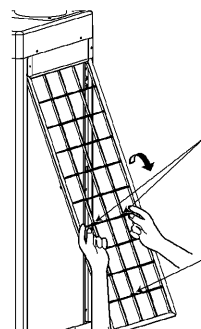


お願い

- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- 長時間、直射日光に当てないでください。縮むことがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

3. エアフィルターを取り付けます。

エアフィルター取付用のとって（2カ所）を両手で持ち、取り付けてください。



エアフィルター
取付用の
とって位置

エアフィルター
取出用の
とって位置

外装の清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れが取れないときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞り汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い

- ガソリン・ペンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

ドレンタンクの排水について

- ドレンタンク内の水位は毎日数回こまめに点検し、排水してください。水漏れの原因になることがあります。
(条件によっては数時間で満水になることがあります。)

お願い

- ドレンタンクをエアコンより取り出すときは、タンクのとってをしっかりと持ち、水平にゆっくりと引き出してください。急な取出しは、タンクの落下によりけがや水漏れ、ドレンタンク破損の原因になることがあります。

その他の日常のお手入れ

性能を維持しより長くご愛用いただくために、次のお手入れをしてください。

- コンセントと電源プラグは定期的に清掃して、ほこりなどを取り除いてください。
- アース線は、断線・ねじ端子のゆるみがないか定期的に点検してください。(外郭にアース端子がある場合)

シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。

- エアコンのまわりに障害物はありませんか？ 障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による機能低下や水漏れ・運転音増大・機器の故障の原因になります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは  12,13 ページ参照

電源プラグをコンセントに差ししてください。

電源ブレーカーを入れてください。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。送風運転のしかたは  10 ページ参照

電源ブレーカーを遮断してください。

電源プラグをコンセントから抜いてください(100V機のみ)。

ドレンタンクの水は必ず捨ててください。

エアフィルターと外装を清掃してください。

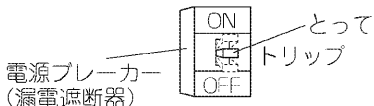
エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは  12,13 ページ参照

熱交換器やファンを洗浄する場合は、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく 運転しない	電源ブレーカーのところがOFF位置 またはトリップ位置になっていませんか？ 	●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないでお買い上げの販売店にご連絡ください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、運転操作ツマミを「停止」にし、再運転してください。
	ヒューズ付負荷開閉器のヒューズが切れていませんか？	ヒューズを確認し、ヒューズが切れている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
運転すると すぐに止まる	エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
	凝縮器にごみやほこりが詰っていませんか？	熱交換器の洗浄が必要な場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。  ページ参照
よく冷えない	吹出口をふさいだり、エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いたりしていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。  ページ参照
	満水ランプが点灯していませんか？	ドレンタンクの水を捨ててください。 (SUASSPのみ)  ページ参照
	延長コードを使っていますか？	延長コードを使わず、直接コンセントに接続してください。 (運転可能電圧：90～110V)
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。  ページ参照
	ほかの設備の排熱空気を吸い込んでいませんか？	設置場所を変えてください。
	蒸発器にごみやほこりが詰っていませんか？	熱交換器の洗浄が必要な場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
	製品に接触するなど、衝撃を加えていませんか？	圧縮機が満水検知の誤検知で停止しています。(SUASSPのみ)  ページ※3参照

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買い上げの販売店にご連絡ください。
このとき、症状と機種名をお知らせください。
(機種名は製品外板下方に取り付けている銘板に記載しています。)

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
ドレン量が少ない	冷房時、ドレンタンクに水がたまらない	熱交換器上部の蒸発器で除湿した水を下部の凝縮器で一部蒸発させているためです。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき (油分やほこりの多い場所)	エアコン内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(注1)
音が出る	冷房運転スタート時の「ジー」という連続音	冷房運転したときの圧縮機の声です。しばらくすると消えます。
	運転停止後の「シュルシュル」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音、および流れが変わる音です。
ほこりが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	エアコン内部に付着したほこりが吹き出るためです。
においが出る	運転中	部屋のにおい、たばこのにおいなどがエアコン内部で吸着されて吹き出すためです。(注2)

注1. エアコンの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買い上げの販売店にご依頼ください。

注2. においの原因になるものを吸込口から離してください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

警告

- 異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断してから、電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源コード・ケーブルが異常に熱い。 電源コード・ケーブルが破れている。	操作つまみで停止にし、電源ブレーカーを遮断してから、電源プラグを抜いてください。
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源ブレーカーを遮断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源ブレーカーを遮断してください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

警告

- 別売品の取付工事は、自分でしない
別売品は、必ず当社指定のものを使用する

取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



- 防露テープ ダクト表面に巻くと、水滴発生が防止できます。
- 排気ダクト 凝縮器からの温風排気を上または横方向に逃がすことができます。
(SUASSP1DS/DT, SUASSP1FS/FTは標準装備)
- 延長ダクト 風向を自由に変えることができます。
- 2口吹出口 冷風の吹出しを2つに分岐することができます。
(SUASP1DS/DT, SUASP1FS/FTのみ)

製品の種類

機 種 名	SUASP1DS・SUASSP1DS SUASP1FS・SUASSP1FS	SUASP1DT・SUASSP1DT SUASP1FT・SUASSP1FT
機 能	冷房専用形	
ユ ニ ッ ト 構 成	一体型	
熱交換器の冷却方式	空冷式	
送 風 方 式	直接吹出形	
冷風吹出温度差(℃)強風量時(★1)	9.5/9.4	

- (注) 1. ★1の値は、周囲条件35℃DB 60%RH、強風量運転時です。
2. /で示された数値は左が50Hz、右が60Hzです。
3. この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●改造は絶対にしない

事故の原因になります。
改造による故障は、
保証期間内でも
有料修理になります。



禁止

●修理は、自分でしない

据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災の
原因になります。

お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、
万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると
有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行了われたことを
サービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

フロンについて

R407C冷媒

本機にはGWP（地球温暖化係数）が1770のフロン類が
使用されています。
地球温暖化防止のため、修理・廃棄する場合には
フロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに温暖化ガス
(フロン類)が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

●修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
 - ご住所、お名前、お電話番号
- } 保証書に記載してあります。

●無料修理保証期間経過後の修理について

販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。

●保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

●点検と保全周期の目安について

【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種によりこととなりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間／日、1500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検 周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検 周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000時間	センサー (サーミスタなど)	1 年	5 年
電動機 (ファン・ルーバードレンポンプ用など)		20,000時間	スイッチ類		25,000時間
熱交換器		5 年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

●消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検 周期	交換周期
エアフィルター	1年	5 年
ヒューズ*		10年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

●廃棄などについて

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

●ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名

TEL

据付年月日

年

月

日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。

電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。



0120-88-1081 (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。

(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

M11A054G (1507) III